



虫を探そう！触れてみよう！観察しよう！



園庭に出ると、花壇の周辺や園庭の端、木の下などに虫を探しに行く子どもたちの様子が見られる

山に囲まれた地域ということもあり、たくさんの虫に出会える機会があるので、楽しみながら更に子どもたちの興味や関心を高めていきたいと考えテーマを設定した

活動スケジュール 5月～8月 月数回 観察・世話は毎日行った

準備した素材や道具 飼育ケース（土、餌、葉っぱ、霧吹き）

環境設定

園庭で虫探しができる時間を取ったり、散歩に出かけるなどした

また捕まえた虫は飼育ケースに入れ、保育室へ持ち帰り、日々世話や観察ができるようにした

活動の内容 5月 図鑑を持って散歩に出かける

園庭で虫探し

6月 モンシロチョウの幼虫を見つけ、保育室で飼育、観察

7月 ダンゴムシを捕まえ、保育室で飼育、観察

ダンゴムシかるた遊び

カブトムシの飼育、観察

図鑑を持って散歩へ！

保育室でよく図鑑を見ている様子があったので、散歩の際に持っていくことを提案してみると嬉しそうに図鑑を手に取り、持って出かける子が多くいた。散歩先では「どんな虫がいるかな」「ここにいそうだよ」など図鑑を見ながら散策する様子が見られた



園庭で幼虫を捕まえた！保育室で育ててみよう！

小道で上を見上げると「あ、なにかいる！」と気づき担任を呼びに来たので、抱っこをして見てみると幼虫でした。大興奮の子どもたち。お部屋で観察してみることにしてみました。日々見守っているとサナギになり、なんとモンシロチョウに！3つの姿を見る事が出来ました！天気の良い日にみんなでさよならをしました！大空へと羽ばたいていくちょうちょを見て、感動しました



ダンゴムシ博士になるぞ～！

園庭のはじや、植木鉢の下などを探すと出会えることが多く大人気なダンゴムシ。かるたや、拡大鏡付きの飼育カゴで観察、飼育カゴで餌をあげたりしてダンゴムシについてとっても詳しくなりました！



カブトムシが来たぞ～！！

保護者の方にカブトムシを分けてもらい、大喜びの子どもたち。カブトムシが見られる！と飼育カゴの周りにみんなが集まってきてしまう程、興味津々でした！ゼリーをあげると食べ始めるまでジューと観察。食べ始めると大興奮でした！！



飼育を続けていると時には逃げ出してしまうと、みんなでお部屋の大捜索をしたり、ネットを工夫したり、餌を給食室に貰いに行ったりと大切にお世話をしました。2か月後、残念ながら死んでしまったので花壇の中にお墓を作り「今までありがとう」とお別れをしました。



活動の振り返り

いつも身近にいる虫たちだが、図鑑を持って散歩に出たり、実際に飼育してみるとより虫に対する興味や愛着が深まり、生き物を大切にしようという姿が見られた。

モンシロチョウは幼虫からサナギ、チョウへと羽化に成功しみんなで喜んだり、カブトムシの死にも触れ、悲しんだりと虫と触れることで様々な気持ちも味わうことが出来た。

子どもたちに積極的な姿勢は見られたが、環境設定など保育士側から提供する事も多くなってしまったように感じるので、もっと子どもたちからの意見も取り入れていければ良かったのではないかと思う。